

## 第61回 創立記念式典

10月10日当院は創立(昭和31年10月10日)から61回目の創立記念を迎えました。

そして今年は式典を10月7日(土)14時から多目的ホールで行いました。式典には阪南OBも参加され、約70名が集まる会でした。院歌斉唱、そして理事長、院長の挨拶と続きました。そして10月1日付けの人事報告がなされた後、永年勤続表彰者29名(内訳:10年表彰12名、15年表彰9名、20年表彰5名、25年表彰1名、ニューライフ休暇2名)が紹介され、理事長より表彰状が授与されました。最後は皆で乾杯し、61回目の創立記念を祝しました。



理事長  
後藤田 公一

「励むところ」を大切に、仕事を通して成長できる環境づくりを皆で考え、多くの方に喜んでいただける病院を目指し続けていきたいと考えております。

今後ともご指導の程お願い申し上げます。

本年も無事に創立記念を迎えることができました。地域の皆様や、病医院の先生方には、いつもながら大変お世話になっております。周囲の皆様のご尽力をいただき、これからもさらに飛躍できる阪南病院であるために、職員総力一致で歩みを進めていきたいと存じております。

また毎年創立記念日には当院OBをお招きし、阪南の礎を築かれた先輩方への敬意を表し、皆で式典を行っております。また現在、当院は「耐震構造」「アメニティの充実」「最新の設備」を整えるために、慎重に再構築及び、新たな建築を進めております。

数年後には私たちの思いを形にした建物「ハード」ができる予定です。素晴らしい建物として動かすには職員「ソフト」の力が大切です。専門性を追求し、個々人の資質を向上することが大切です。そして私たちの誓いである「愛のこころ」「和のこころ」

- ### 基本方針
- 人権を重んじ、患者さんやご家族の「こころ」に寄り添ったやさしい医療を提供します。
  - 質の高い医療を提供するため、すぐれた医療人を育てます。
  - 「光と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。
  - 地域の拠点病院として、保健・医療・福祉に貢献します。
  - 信頼される医療サービスを提供するため、経営の健全化につとめます。

2016.4.1 改定



## もみの木

●松(まつ)科。  
日本特産の木で高山などに生えており、標高の高いところを山歩きすると、ときどき見かけるようです。小さく長い葉が枝につくさまが特徴があり、クリスマスツリーの定番として使われます。葉っぱはやや太めで建材や製紙用としても使われています。

案外、街中でみることができるともかもしれませんね。  
これからの季節は美しく飾りをつけて、私たちの目を楽しませてくれることでしょう。

## 年末年始のご案内

- 年末 12月30日(土)まで外来診療いたしております。
- 年始 1月4日(木)から診療を開始します。
- 面会時間 10:00~19:00 (12/31~1/4)



12月31日(日)~1月3日(水)の4日間は、救急対応のみとし、通常の外来を休んでおります。また、この間はバスの運行もお休みさせていただきます。どうぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

## 外来診療表

外来診療時間/9:00~12:00(受付は11:30まで)平成29年9月現在

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1 診	黒田	土井	濱田	横田	黒田	横田
2 診	花房	秋田	松島	戎	横井	横井
3 診	松島	島本	植田	白銀	茶谷	植田
4 診	田中	亀田	岩井	加納	広田	岩朝
5 診	佐野	山田	川村	宮里	秋田	松村
6 診	柴田	長谷川	正路	吉川	小林	宮里
7 診	山本	久保	小深田	橋本	久馬	小深田
8 診	熊取谷	大矢	西村	河野		熊取谷
9 診	上坂	柏木	後藤	大浦	土井	安藤
診(心1)	清水		中井	山下		

\*医師の急な都合により、変更・休診となることがございますので、予めご了承ください。  
(ご紹介いただく際は予めのご連絡をお願いいたします)



専門外来  
(睡眠・児童・往診・女性・口腔)は予約制です。  
医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。受診の前にお電話ください。  
TEL.072-278-0381  
FAX.072-281-6615

## 診療科目

精神科/心療内科/児童精神科/内科/歯科/小児科/放射線科/神経内科

## 病床数

- EPU(精神科救急)病棟 168床(C1,H2,H3病棟)
- 児童精神科病棟 25床(D1病棟)
- 垂急性期病棟 120床(B2,C2病棟)
- 精神科急性期治療病棟 111床(D2,E2病棟)
- メンタルケア病棟 35床(E3病棟)
- 老年期精神疾患病棟 60床(D3病棟)
- MPU(精神科合併症治療)病棟 51床(H1病棟)
- 精神療養病棟 60床(F3病棟)
- 認知症治療病棟 60床(F2病棟) 計690床

## 関連施設ご紹介

- 認知症疾患医療センター ☎072-278-0233
- 訪問看護ステーションふれあいサテライト「浜寺石津」☎072-279-1631
- グループホームあんずの郷 堺市中区八田北町309 ☎072-278-2233
- 地域生活支援センターゆい 堺市中区深井沢町3324 FUKAIビル1F ☎072-277-9555
- 堺市発達障害者支援センター アプリコット堺 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号 堺市立健康福祉プラザ内3F ☎072-275-8506
- 医療福祉相談室(直通) ☎072-278-3768
- 就労移行支援事業所 エンワーク 堺市中区深井清水町3544-3 アンシャンテ深井1F ☎072-270-3318
- 居宅介護支援事業所 ☎072-278-0488

## 地域のイベント

行楽の秋には、堺市でも様々なイベントが開催されます。当院もお声がけいただき、いくつかのイベントで医療相談ブースなど設けさせていただき、参加してきました。

### 10月28日(土)「ハッピーハロウィン～安全・安心なまち泉ヶ丘」

泉ヶ丘駅の泉ヶ丘ひろばで「ハッピーハロウィン～安全・安心なまち泉ヶ丘～」が開催されました。あいにくの天候で時折大雨、突風が吹く中で相談ブースを設置、医師、看護師、薬剤師、PSW、管理栄養士といった専門職が来場された人の健康相談を行いました。ステージではコーラス、人形劇などが行われましたが、悪天候のため観客は少なく、ステージ前は寂しい状況になりました。病院や関連事業のパンフレットを配布し、阪南病院のアピールをしましたが、相談件数は18件と少なく終えたため、来年は今年よりもアピールを行いたいと考えております。



### 11月11日(土)「西区ふれあいまつり」

少し肌寒い秋晴れの中、堺市西区のウェスティ堺でふれあいまつりが開催され、阪南病院は、認知症疾患センターの活動の一環で参加しました。たくさんの地域団体が多くのブースや建物内で様々な催しをおこない、盛り沢山の内容に、歴史を感じさせるイベントでした。当院からは、広田医師など多職種が参加し、認知症の健康相談などを行いました。



相談件数は26件で、物忘れが不安であることや認知症の予防はどうかなどの今後の健康についての不安を話される方が多く、家族についての認知症の相談は5件ほどでした。今後も今回の経験を活かし、パンフレットの内容を考慮したり、物忘れとの違いをポスターで掲示する等様々な工夫をして意義のある取り組みにしていきたいと考えました。

### 11月12日(日)「南区ふれあいまつり」

南区役所および、西原公園グランドで第21回南区ふれあいまつりが開催され当院も救護活動・こころの健康相談に参加してきました。南区ふれあいまつりは、泉北ニュータウンを抱える南区が主催するイベントで、昨年度は来場者1万6千人を数え、地域住民が参加する非常に大きなイベントです。堺市長をはじめ、衆議院議員・市議会議員なども来場されてまいりました。当院ブースにも堺市の竹山市長が訪れ、イベント協力に対し謝辞をいただきました。



当院からは、医局・薬剤部・医療福祉相談室・看護部・地域連携室の多職種で総勢7名参加し「救護活動」「心の健康相談」を展開しました。ブース来場者の中には、高齢者や高齢者を抱えている家族の方が多くみられ、本イベントに参加する意義は大きいと感じました。

## 認知症啓発活動

9月27日堺市西区で「なるほど認知症講座」、10月12日堺市中区にて「認知症セミナー&相談会」を開催しました。昨年度も認知症市民公開講座を開催しましたが、今年度は地域包括支援センターと共催で認知症疾患医療センターの管轄である西、中、南区で開催することになりました。

### なるほど認知症講座



土井先生



中区相談会の様子

西区は第1部で当院副院長土井Drより「認知症～早期発見、早期治療をめざして～」という演題で講演、第2部では「やすらぎの園津久野」の堺市介護指導者による「認知症の方の気持ち・関わり方」をグループワークを交えながら講演いただきました。全体で54名の参加をいただきました。

中区は土井Dr.より講演の後、専門職による相談会を実施。一般市民から専門職の方々まで相談を受けました。「認知症の疑いがあるが受診拒否しておりどうしたらよいかわからない」など地域にはまだまだ診断がついておらず家族が困っているケースがあるのだと実感しました。

どちらの講座もたくさんの方に参加いただき、感想にも「医療的な話を初めて聞いた、理解しやすかった、もっといろいろな知識を得たい」などあり、改めて認知症に対する関心の高さがうかがえました。

来年度以降も地域包括支援センターと連携して公開講座を開催し認知症啓発を行っていきたくと思っています。  
(堺市認知症疾患医療センター)



当院は敷地内完全禁煙です

## 宋こどものこころ醫院

家族みんなが楽になれる醫院を目指しています。ただ、それには家族全員が集まっていたり必要は決してありません。実際に来院される方はその症状や問題に対して一番一生懸命で一番詳しい。その来院された方の持つたくさんの力を引き出して差し上げる。それが当醫院の治療です。

- 住所 〒540-0004 大阪府大阪市中央区玉造1-5-7
- 電話 06-4303-5683
- HP <http://child-mental.com/>  
JR「玉造駅」より徒歩1分
- 最寄駅 地下鉄長堀鶴見緑地線「玉造駅」3番出口徒歩1分
- 診療科 児童精神科、心療内科

Dr.情報 院長 宋 大光 先生

☆経歴:関西医科大学卒業、神戸大学病院 小児科臨床研修医、公立豊岡病院 小児科研修医、大阪赤十字病院 小児科、国立精神神経センター 小児神経科レジデント、医療法人杏和会 阪南病院 精神科・児童精神科、きょうこころのクリニック 児童精神科 非常勤医師、2013年 宋こどものこころ醫院 開院

☆資格:医学博士、精神保健指定医、日本精神神経学会専門医・指導医、日本児童青年精神医学会認定医、日本小児科学会専門医



## 医療機関紹介 renkei bookmark



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 9:00~12:30	○	○	—	○	○	◎	—	—
午後 14:00~17:30	○	○	—	○	○	—	—	—

※電話による完全予約制 ※土曜診療は9:00~13:00まで



## 院内再構築工事

E2(精神科急性期治療)病棟:閉鎖処遇での治療が望ましい方の増加もあり、開放治療を行っていた病棟を閉鎖にいたします。そのための工事は保護室の増床と風呂の新設、個浴をシャワー室に変更いたしました。消防の検査を受けて11月初旬から閉鎖の精神科急性期治療病棟として稼働しております。

E棟1階:リワークセンターや身体リハビリテーション室、各会議室を置いていたE棟1階を病棟へ転換する工事を行います。旧棟を新しくするための第一段階の工事です。個室中心の病棟とするため、大掛かりな工事になります。

入院中の患者さんには騒音などで迷惑をおかけいたしますが、安全第一で行なってまいります。また、工事に際し、もともとの居室を移動しております。

看護実習室、身体リハビリテーション室はB棟へなど変更しておりますが、患者さんへ影響するのはリワークセンターのG棟(OTセンター、デイケアセンター棟)への移動です。以前は喫茶店として、数年前から作業療法室として利用していた場所をリワークセンターへ変更しております。これまでより少し手狭になることから、将来的に拡張工事を行い、利用者へご不便のないようにさせていただきます。

ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

E棟1階 → G棟 旧・喫茶ひだまりへ 10/27移設



## 第53回 公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会 第16回 日本精神保健福祉士学会学術集会

平成29年9月15日、16日の両日、グランキューブ大阪にて第53回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会、第16回日本精神保健福祉士学会学術集会が開催されました。大会のテーマは「ソーシャルワークを可視化する～未来への存在意義を求めて～」という壮大なテーマが掲げられ(このテーマを提案されたのは平大会長です)38年ぶりに大阪の地で開催するにふさわしくもあり、我々自身に向けられた挑戦的なテーマでもありました。2日目には中之島BANKSでピアによる「トークイベント」や「アコースティックライブ」に加え福祉サービス事業所がプロデュースした手作りのお菓子やお弁当の販売など企画しました。今年度から台風シーズン真只中の9月の開催、2日目に恐れていた台風が近畿にも接近しBANKSは13時に切り上げてしまうという残念な結果となりました。風は少しずつ強くなり雨も降ってはいましたが本大会は大きな混乱も無く、全国から精神保健福祉士約1400名が集まり過去の大会参加者を抜き、盛況に終えることができました。



私たち杏和会のスタッフは大会長である大阪精神保健福祉士協会平会長を筆頭に18名が運営側として参加し、クロークやお弁当配布、メインホールの裏方、BANKスタッフなどの役割を担いました。結果、大会へのプログラム参加はできませんでしたが、貴重な経験と阪南のチームワークで2日間しっかりとおもてなしができたと思っています。各分科会において「医療機関における役割の可視化」「司法領域の取り組み」「自殺対策」「依存症者・発達障害者支援」「子供・若者支援」「多様な取り組み」と、ポスターセッション、合計7演題を発表しました。当日の役割もあり調整も大変でしたが皆、日頃の実践をまとめ、発表できた事は大変良い機会となりました。

私たちソーシャルワーカーが実践を可視化させ専門性を深化することで社会のニーズに応えることが求められています。

可視化させるには実践の根拠やソーシャルワークの中身を明確に表し、自分のスキルを持って、その目の前の支援が必要な人に、もっと言えば社会に対して専門性を発揮しなければならないと考えます。この大会に皆で参加できたことはこれからのソーシャルワーカーとして果たすべき役割を点検する良い場となりました。(医療福祉相談室)

## 薬物、アルコール、ギャンブルの依存症治療の取組みに向けて

黒田院長が以前より当院がこれからの取組むべき項目に「『依存症』治療に取組む専門医療機関」としての位置付けがあります。

大阪府精神医療センターは、平成28年まで、大阪府からの委託事業である「依存症治療拠点機関設置運営事業」の一環として、依存症の治療及び回復を目的として、相談支援体制の確立や治療プログラムの開発等を行いながら薬物・アルコール・ギャンブル等の各種依存症の受入れを行っておられます。

この度、大阪府から大阪府版認知行動療法プログラム(ぼちぼち)のモデル実施において実施医療機関への参加の打診をいただき、これまで数回の情報交換会を実施し、結果モデル事業への参加を正式に表明しました。その後、大阪府精神医療センターでのプログラム見学(3回)、そして、国立精神・神経研究センター、国立肥前精神医療センターでの薬物依存症に対する『依存症集団療法』研修会へ順次参加しております。まだまだこれからではありますが、これからのニーズに応えるべく、まずは第一歩を踏み出しました。実践が始まった頃には改めてご案内させていただきます。

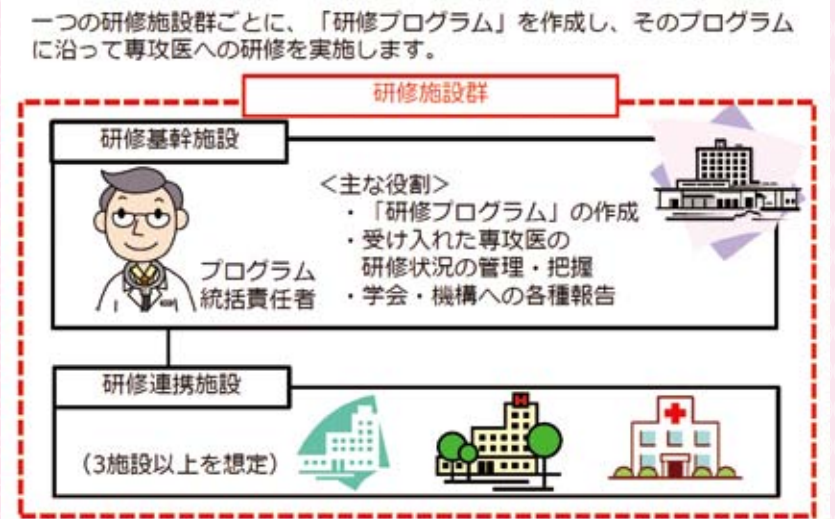
## 新専門医制度「基幹病院」認定

平成29年4月より医師の専門医取得制度が変わります。各学会が行う専門医の選考にさらに日本専門医機構(以下機構)の選考を加えることで、より専門性の高い医師の育成を目指します。同時に各科の選考基準の平準化を図ることも目的とされています。

また、研修施設は、研修施設群を構成しより専門性の高い教育を行うこととなります。つまり一つの研修プログラムは統括する施設(研修基幹施設)と、連携して医師の教育を行う施設(連携施設)で構成されます。当院はこの基幹施設に認定され、来年から研修施設群での専門医研修を実施することとなります。

さて、当院のプログラム統括責任者は横田副院長、そして3つの連携施設様と連携しプログラムを進めることとなります。募集人数は、過去3年間の平均採用数が上限とされるなど、病院独自の裁量で決められないこともあります。次年度に向けて運用面やスケジュールなど、より指導体制を進めるために準備を進めております。

(日本精神神経学会ホームページより抜粋)



## 機能評価「期中の確認」について

病院の第三者評価である「病院医療機能評価」を当院が更新受審したのが、2年前の平成27年6月でした。平成25年、評価項目のVer.UPがなされ、それまでどの病院も同一の評価項目であったものが機能種別ごと(急性期病院、精神科病院、リハビリテーション病院等、病院機能により評価項目が区別された)になりました。

この第3世代の項目より、認定期間5年のちょうど中間時期に「期中の確認(中間報告)」を行なうこととなりました。今年、当院はその中間時期になり、11月末までに中間報告を提出しなければなりません。期中の確認は病院の継続した質改善を支援することを目的に実施されています。当院でも「期中の確認」に向け機能評価運営推進会議が中心となり、評価項目の現状確認と、現況報告の準備を行なっています。

現在の認定期間は2020年11月です。まだ2年半ありますが、減ったとはいえ100を超える項目をしっかりとクリアしていかなければなりません。これからもしっかりと活動を継続していきたいと考えます。(機能評価運営推進会議)

